

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 高橋雅昭
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail:info@g.jyuji.or.jp
印刷/大和印刷株式会社

2021
No.224

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2021年元旦 新年挨拶会

新しき年の初めに思ふどちい群れてをれば嬉しくもあるか

新しい年の初めに心親しい多くの人々と出会うことができるのは嬉しいものです。

(萬葉集 道祖王 (ふなどのおおきみ))

イルド

理事長 鈴木 淳司

コリントの信徒への手紙Ⅱ三章十七節
「ここである主とは、霊」のこと
ですが、主の霊のおられるところに
自由があります。

私が一年前、この紙面に載せる
原稿を書いている時には、今の様
に世界中に新型コロナウイルスの
感染が拡大するとは思っておりま
せんでした。

危機に直面すると、人は他者と
同じ行動をとる事で危険回避と心
理的安心感が得られるそうです。
この心理が強く働くと、同じ行動
をしない人に対して敵意や憎悪が
生まれやすくなります。新約聖書
の時代も、そのような人々に、避
難の目が向けられ忌み嫌われてい
ました。イエス様は、その一人ひ
とりを排除せず、丁寧に向き合い
癒されました。私たちもイエス様
に倣い、お互いの違いに丁寧に向
き合い、互いの隔てを、忍耐を持っ
て乗り越えて行く時なのだと思っ
ます。皆様に神様の平安がありま
すようお願いいたします。

ノリフトケア(抱え上げゼロ)に向けて

当施設の取組

御殿場十字の園施設長 高橋 雅昭

新型コロナウイルスが武漢で発見されてから一年が経ちました。この一年はあつという間だったのか、まだ一年なのか実感としては正直分かりません。しかしワクチンの接種の道筋が見えてきました。そのような状況になってくると一日一日が長く感じられてきます。ワクチンがどこまで大きな効果を発揮するのかはまだ接種が始まっていない状況ではありますが、過度に期待してしまいます。

御殿場十字の園としては現在も面会の制限や施設への訪問を制限させていただいております。ご家族の方々やボランティアの方々には引き続きご不便をおかけしますがご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。なお、オンライン面会は引き続き行っておりますので積極的にご利用いただくようお願いいたします。

さて、二〇〇〇年からスタートした介護保険制度については三年に一度見直しが行われていますが二〇二一年度はその見直しの年に当たります。見直しの内容は大きく分けて①感染症や

災害への対応力強化、②地域包括ケアシステムの推進、③自立支援・重度化防止の取組の推進、④介護人材の確保・介護現場の革新⑤制度の安定性・持続可能性の確保となります。来年度に向けて当施設も対応の準備をしていかなければなりません。その中で今回は④の介護人材の確保・介護現場の革新について触れたいと思います。

近年働き方改革が注目され日本全体で長時間労働の削減や雇用形態の見直しなどが図られています。業務内容を見直すことも大切な課題です。近年当施設で対応が必要と感じていたのは職員腰痛対策です。どの介護現場でも当てはまることですが、職員が腰痛に悩まされており、その対策は喫緊の課題でした。

そこで数年前より「ノリフトケア」の推進や「腰痛休業者ゼロ」を目標に掲げて取り組んできました。腰痛予防については安全衛生委員会が中心となって腰痛予防に取り組んできました。その一環としてどの介助が職員にとって負担が大きいのか

「ありがとうございます」

御殿場教会牧師 中島 善子

三月末で十九年間仕えてきました御殿場教会を離任します。十九年前の施設長は上野貢一氏で、御殿場教会の長老でもありました。他にも御殿場教会の長老が十字の園で勤務されていました。そうした教会との関係の中で私は十字の園に奉仕させていただきました。御殿場での最後の年度を振り返って、神様に心から感謝し、大きな喜びとなった三つのことを紹介させていただきます。

①上野氏の後任として施設長となられたのは宮島克利氏でした。突然の重責を抱え、多くのご苦労があったと思いますが、毎日曜、施設の方を伴い礼拝に出席されていました。十字の園での礼拝も、説教を担当されていたので宮島氏に何度も洗礼をお勧めしたのですが、その度、笑顔で断わられました。しかし昨年、宮島氏から突然「洗礼を受けたい」との申し出があり、夢ではないと分って、大喜びで神様に

感謝しました。洗礼準備の喜びを重ねて、宮島克利氏は昨年のイースター、お子さんたちも見守る中で、父、子、聖霊なる神様の御名により受洗されました。職場は伊豆に移されましたが、御殿場教会での礼拝を誠実に守っておられます。より力強い働きのため、宮島氏に最良の時を備えておられた神様の御業に驚き、感謝しました。

②昨年はコロナ感染予防のため、様々な工夫が十字の園でもなされてきましたが、思わぬサプライズがありました。クリスマス礼拝です。多くの方がホールに集えないので、リモートで声と画像を飛ばして、礼拝の様子を全館放送していただきました。飛び上がりたいほど嬉しかったです。大喜びで神様に感謝しました。礼拝の全館放送を前からお願ひしていましたが、コロナの非常事態で礼拝の全館放送が実現しました。苦難を益に変えてくださる神様の御業を見

せていただきました。十字の園の利用者の方、職員の方の多くは信仰者ではありませんが、全館放送で流れる礼拝での讃美歌、聖書の言葉、祈り、説教など何かが誰かの心に届いたら、どんなに善いか。それを願い、祈って来ました。礼拝の全館放送がこれからも続けられ、誰かの生きる力、生きる喜びになることを願っています。

③御殿場教会と御殿場十字の園は創設時から深い関わりがあり、常に教会の長老が十字の園で働きつつ、信仰の証をしてこられました。でも上野貢一氏が転任され、御殿場教会の長老会の現役メンバーは不在になりました。

すると十字の園で営繕の働きをしているS氏が昨年、執事に任職されました。若いですが教会に来てから一度も礼拝を欠席せず、神様に仕えています。その信仰の力が十字の園に生かされることを信じて、心から神様を喜び、神様に感謝しています。

「主において常に喜びなさい」
(フィリピ 四章四節)

クリスマス会

クリスマスクワイヤー！
クリスマス礼拝

十二月九日にクリスマスクワイヤーを、そして翌日十二月一〇日にクリスマス礼拝が執り行われました。クリスマスはわたしたち施設でもっともにぎやかで楽しく、もっとも心を豊かにしてくれる催しです。今年は辛く悲しく耐え忍ぶ出来事が世界中に猛威を振るっています。クワイヤーで手にとった灯火は、ほのかで弱い灯りだけれど、わたしたちを暖かく包み込んでくれて明日への希望をもたらしてくれます。



手のひらの灯火



クリスマス礼拝

クリスマス礼拝は、例年の密集・集合方式を改めて直接ベロニカホールでの参加を希望される方のみらせていただいで、そのかわりに放送形式での礼拝をおこない全館隅々にまで讚美歌の曲を届けさせていたいただきました。



参加する人数を最小限にしてセラピー訓練犬「セラ」も参加して、楽しくかつ厳粛に執り行われました。



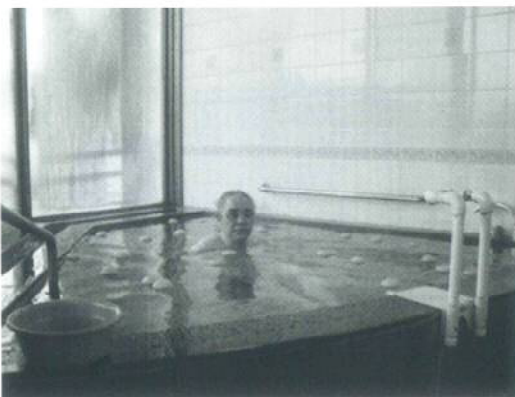
昼食はクリスマス特別メニューによる会食を。午後はお菓子バイキング。

ケアハウス

『冬至』

御殿場アドナイ館 武山 幸浩

冬至とは？と検索すると、『北半球において日の出から日の入りまでの時間がもっとも短い（＝夜が長い）日のことです。』と出てくる。今年は新型コロナウイルスの流行で、皆さんが楽しみにしていた施設行事や、家族・友人との面会も自粛となり、一日の過ぎるのがなんとも長く感じてしまう事だったと思います。そんなストレスや今年の疲れを癒していただきたく、今年もゆず風呂を楽しんでいただきました。世間では未だに暗いニュースばかり続きますが、年明けには日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種も解禁されると言う明るいニュースもあり、二〇二一年に期待しつつ今しか出来ないことを皆さんと楽しんでいきたいと思えます。



グループホーム



毎年恒例のペロニカホールのクリスマスツリーを背景に集合写真。



ビール（ノンアルコール）片手にほろ酔い気分（笑）



ご馳走に舌鼓。

十二月十日（木）にクリスマス会を行いました。深沢の十字の園にてクリスマス礼拝に参加後、笑みの里へと戻り、皆さんお待ちかねの会食会。職員お手製のご馳走を召し上がりながら、ひと足早いクリスマス満喫されました。

クリスマスのひととき グループホーム笑みの里

デイサービス



ゲームに挑戦！
箱の中身は……触って当ててね。
「えっそれ触れるの。勇気あるわぁ！」



イベント開催が難しい中、園長によるエアロフォン（電子楽器）で素敵な演奏会を開いて下さいました♪皆さんも大喜び。



退職する職員へプレゼントを送りました。
「お疲れ様でした。」

御殿場デイサービスでは、新年会を開催しました。演奏会、ゲームと盛りだくさん。そして長年勤めてくださった職員が退職。皆が知っているあの方に「お疲れ様」とプレゼントを贈りました。

デイサービス新年会

書籍の紹介

「夕暮れになっても光はある」
（特養寮母の絵日記）

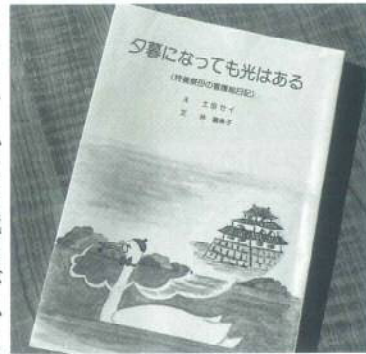
絵：土田セイ 文：林富美子

今回は御殿場十字の園初代医師である林富美子先生の著書を紹介します。

手に取るとまるで絵本のように親しみやすく字も大きくとても読みやすい印象ですが、楽しく読んでいくうちにその言葉の一つ一つが優しく鋭く介護職員の心にしみわたります。

序盤に「老人の話に耳を傾け、老人の心の整理を援助する事」という言葉があります。

この言葉は林富美子先生が身をもって貫いてきた老人看護・介護に対するスピ



リット、私たち職員が心に刻み引き継いでいくべき事ではないかと思いました。

看護介護に携わって来た人なら誰もが味わう出来事に一つの答えと優しさを与えてくれる一冊です。ぜひお読みになって下さい。

（文 高木）



HYS活動について

HYS委員長 宮下 彩佳

HYSとは、Hyper sensitivity（知覚過敏）ではなく、Hataraki Yasui Syokubaの頭文字から「誰もがすぐ思い浮かべてくれる」ネーミングを考えた。日本能率協会が製造業の生産管理を指導する際に使われた5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を用いて、仕事を働きやすい環境に整えていきましようという目的を持った委員会です。職員が働きやすくなる事で十字の園を利用される方々の生活の豊かさにもつなげる事も期待できます。

何故5Sが必要かという「探す」は仕事ではなく



無駄な時間だからです。職場で「あれはどこにあるの？」と探す時間、一つ一つは僅かですが累積すると膨大な時間となります。環境を整え削減した時間は、より高質なサービスとして皆さんに還元できます。二〇二〇年からは委員会を中心に、十字の園全体で5Sの最初「整理」を行っています。HYS活動は一人で行うものではなく、皆で行うことによって力を発揮します。どうぞこれからもご協力をよろしくお願いいたします。



あとがき

一粒手のひらに乗せてあげると「なつかしい。」と誰もが声をあげるカンロ飴。一方昨今のそばつゆブームで爆発的に売れたと聞き及ぶそばつゆ。下味には「かえし」という調味料があります。実はカンロ飴もかえしも原料は同じ砂糖、水飴、醤油、食塩。糖とアミノ酸とたんばく質が結合して褐色の色と香りと旨味を生じるメイラード反応の産物です。「おいしい」「うれしい」「たのしい」の三つの形容詞は「しあわせ」を生み出す下味です。「カンロ飴食堂」と検索してみてください。「おいしい」情報を添えて最新号を傍らにお届けします。

（やまもと）

